

通し番号	3729
------	------

分類番号	12-24-17-02
------	-------------

(成果情報名) 5, 6月どりに適した株ネギの優良系統の選定	
[要約] 株ネギを5月以降にも未抽だいのまま収穫するため、株ネギの各系統を収集して、晩抽性・多収・品質を選定の基準として各系統の特性を調査した。その結果、「21~3」、「江戸川中」、「3・1」、「株ネギ」が優良であった。	
農業総合研究所 津久井試験場	連絡先 0426-85-0203

[背景・ねらい]

津久井郡では冬から春にかけて株ネギが販売されているが、ほとんどの系統が4月中に抽だいするため、直売が活発になり、市場価格も高くなる5月以降は収穫できなくなっている。そこで、株ネギ各系統を収集し、晩抽性・多収・品質を選定の基準として優良系統を選定する。

[成果の内容・特徴]

1 供試した系統は次のとおりである。

- ・串川1号    ・串川2号    ・串川3号    ・串川4号    ・串川5号    ・串川6号
- ・串川7号    ・串川8号    ・串川9号    ・名倉1号    ・株ネギ    ・長生在来
- ・江戸川太    ・江戸川中    ・晩生2・5    ・3・1    ・21~3

(串川1号から名倉1号までは津久井試験場が収集し、命名した。「株ネギ」から「21~3」までは生物資源部収集系統)

- 2 晩抽性・多収・品質の点で、「21~3」、「江戸川中」、「3・1」が優良であり「株ネギ」は品質、収量は優ったが一部にウイルス病の被害がみられた。
- 3 優良系統は、いずれも5月になっても全く抽だいないか、抽だいしても30%以下であった。
- 4 優良系統はいずれも葉しょうが軟らかく、食味調査の結果、高い評価を得ている。葉しょうの軟らかさと食味の間には、5%水準で正の相関がみられた(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 株ネギは株分けにより容易に増殖できるが、母株は病気のない健全なものを使用する。

[ 具体的データ ]

表 1 抽だい調査

系 統	平成 1 1 年度			平成 1 2 年度			
	調査 株数	抽だい 株率(%)	抽だい日 (月日)	調査 株数	抽だい 株率(%)	抽だい日 (月日)	
津久井郡内 の在来系統	串川 1 号	10	100	4.16-4.19	20	100	-5. 8
	串川 6 号	9	100	5. 3-5. 8	15	100	-5.10
	串川 7 号	9	100	4.23-4.28	21	100	-5.8
	串川 8 号	11	100	4.13-4.19	18	100	-5.8
	名倉 1 号	7	43	5.12	20	25	5.15-5.22
生物資源部 収集系統	株ネギ	10	20	5.20	20	0	未抽だい
	江戸川中	11	0	未抽だい	20	0	未抽だい
	晩生 2・5	11	82	5.7	21	76	5.10-5.15
	3・1	9	22	5.7	18	6	5.10
	2 1 ~ 3	9	0	未抽だい	19	11	5.12-5.15

抽だいは柱頭が外から目視できた日。抽だい調査は、6月上旬まで行った。

表 2 1 株重、葉しょうの硬さ、食味

系 統	1 株重 ( g )		葉しょうの破断		
	11 年度	12 年度	強度(kg/cm <sup>2</sup> )	食味	
津久井郡内 の在来系統	串川 1 号	2,947	1,343	32.5	2.6
	串川 6 号	886	275	30.5	2.6
	串川 7 号	1,393	555	37.8	2.4
	串川 8 号	2,952	1,321	30.7	2.8
	名倉 1 号	1,517	1,220	30.6	2.8
生物資源部 収集系統	株ネギ	1,986	1,252	25.8	4.0
	江戸川中	1,543	816	29.3	3.7
	晩生 2・5	2,565	1,568	29.1	2.8
	3・1	1,796	650	27.6	3.1
	2 1 ~ 3	1,982	948	24.9	3.3

各系統の調査個体数は、1 株重は 7 ~ 21 個体、葉しょうの破断強度は 6 ~ 10 個体  
食味 5 : おいしい 4 : ややおいしい 3 : 普通 2 : ややまずい 1 : まずい

[ 資料名 ] 平成 10, 11, 12 年度 農業総合研究所津久井試験場成績書 ( 茶・園芸作物 )

[ 研究課題名 ] 株ネギの優良系統の選定

[ 研究期間 ] 平成 1 0 ~ 1 2 年

[ 研究担当者名 ] 大橋 透